

|               |   |
|---------------|---|
| Title         | 大阪外国語大学論集 34 原稿寄稿要領   |
| Author(s)     |   |
| Citation      | 大阪外国語大学論集. 34   |
| Issue Date    | 2007-03-09  |
| oaire:version | VoR   |
| URL           | <a href="https://hdl.handle.net/11094/80006">https://hdl.handle.net/11094/80006</a> |
| rights        |   |
| Note          |   |

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 「大阪外国語大学論集」原稿寄稿要領

1. 「大阪外国語大学論集」は、本学教員による研究結果を掲載・発表することにより、学術研究の発展に寄与するものである。
2. 寄稿者は本学教員、非常勤講師及び元教員とする。
3. 研究推進室は原稿を募集し、編集部門が査読結果に基づき、その採否を審議して決定する。
4. 内容は未発表の①学術論文、②研究ノート、③資料（翻訳を含む）、④書評論文で、翻訳については翻訳権等の問題に接触しないものとする。
5. 原稿は 400 字詰原稿用紙にして学術論文、研究ノート及び資料 100 枚、書評論文は 30 枚以内、外国語原稿の場合は A 4 サイズ用紙にダブルスペースで 30 枚以内とする。なお、ワープロ使用の場合はフロッピーディスクや CD-R などに原稿データを添付すること。
6. 学術論文及び研究ノートについては、日本語原稿の場合は外国語による要旨（300 語程度）を、外国語原稿には日本語による要旨（400 字程度）を付すものとする。和文・英文以外の言語（査読者が限定されるような言語）を使用する寄稿の場合は、上記とは別に査読者用に概要（英語または日本語）を添付すること。
7. 提出原稿は完成稿とし、分載・連載は認めない。校正は字句の訂正のみにとどめ、大幅な加筆修正は認めない。
8. 執筆者校正は原則として再校までとし、編集部門の指示に従うものとする。
9. 特殊製版（図表・写真版・特殊文字等）の費用は、執筆者の負担となる場合がある。
10. 抜刷は 50 部を超えて希望する場合は執筆者の負担とする。
11. 二編以上を寄稿する場合は、優先順位をつけて提出し、その採否は編集部門に委ねるものとする。但し、総枚数は 400 字詰原稿用紙 150 枚を超えないこと。

12. その他執筆にあたっては以下の点に留意するものとする。

\* 氏名の外国語表記は姓、名の順とする。

(例：GAIDAI Hanako)

\* 日本語原稿には外国語のタイトルを，外国語原稿には日本語のタイトルを付す。

\* 要旨については，本文冒頭に付す。

\* 『注』は両カッコ（例：(1)，(2)，(3)，…を用い，本文右肩に付し後注とする。）

13. 本学では，国立情報学研究所が行う学術雑誌公開支援事業に参加するため，執筆者が保有する著作権の内「複製権（※1），公衆送信権（※2）」の行使を大学に委託願います。

#### 学術雑誌公開支援事業

国内の大学等が発行する研究紀要の電子化，公開の支援を通じて大学等の情報発信を支援する事業です。（<http://www.nii.ac.jp/nels/>）

- （※1）複製権とは著作物を有形的に再生することに関する権利です。

研究紀要の電子化・公開の場合，冊子体を電子化することは，複製に当たります。また，電子化したデータをサーバのハードディスクへ保存することも複製に当たります。

- （※2）公衆送信権とは著作物を公衆向けに「送信」することに関する権利です。

インターネットなどを通じたサーバからの「インタラクティブ送信（自動公衆送信）」の場合には，送信のためにサーバへデータをアップロードすること含まれます（送信可能化権）。

研究紀要ポータルではインターネットを通じて不特定多数の利用者への公開を行いますので，公衆送信に当たります。